

TIKKURILA 内部塗料

塗装方法

01



作業前に、必要な準備と保護をします。

1. 事前に必要な工具と塗料を準備します。
2. 家具などを移動させるまたはカバーで保護します。十分な作業スペースを確保します。
3. 塗装しない部分は、段ボール、紙、ビニールなどでカバーします。マスキングテープなどで塗装エリアを区切ります。

02



クリーニングとサンディング

未塗装面

1. ほこりなどの付着物を取り除きます。
2. 木の表面を水で軽く湿らせ、乾燥させます。ささくれだった木の繊維をサンディングします。サンディングダストを取り除きます。
3. 次の工程の前に表面を乾燥させます。

既塗装面

1. ヤコなどをスチール製ヘラで取り除きます。
2. Tikkurila 社の壁用洗剤を下から上に塗り、湿らせた布で拭きます。作業が進むにつれ布をすすいでください。
3. 表面を乾燥させます。
4. 古い光沢のある硬いラッカーの表面を軽く研磨して鈍くなるまで磨きます
5. サンディングダストを取り除きます。



パネルエース製品を人工繊維の刷毛で 1～2 回塗装する

1. 塗装前と塗装中に製品をよくかき混ぜます。
2. 木目に平行に、パネルの端から端へ一度に刷毛で塗装します。
3. 調色された塗料を使用する場合は、最初の塗装では 20～30%の水で希釈して使用します。

均一な仕上がりには

半透明カラーでは、最終的な色は常に木材の色及び空隙率や、塗装回数、塗料の光沢度合いなどの影響を受けます。最終的な色の選択の前に、慎重にテストを行ってください。

参考動画：

<https://youtu.be/7pYYGmfcowg?si=UyoXRU1WJWfnqMmU>

パネルエースセミマットの塗装には刷毛塗装を推奨していますが、スプレー塗装も可能です。

エアレススプレーとエアスプレーは、どちらも使用できます。

エアスプレー：見栄えがよく使いやすいですが、周囲に「横からのスプレー」が多くなるため、周囲を徹底的に保護する必要があります。

エアレススプレー：安価なエアレススプレーでは、エアスプレーほど良い結果は得られません。高品質の高圧スプレーを使用すると、汚れるにくく良い結果が得られます。

スプレーチップサイズ：

エアスプレーの場合は 1.7～2 mm

高品質のエアレススプレーの場合は 0.0015～0.0017 インチ

調色された Paneeli-Ässä 20 の希釈：

スプレーする際、希釈は各塗装ごとに行います。高品質のエアレススプレーでは 20%希釈、エアスプレーは 40～50%希釈です。

本和訳は、便宜のために作成された英語/フィンランド語版原本の非公式訳の概要説明です。

原本と本和訳の間に齟齬がある場合、原本が優先します。